



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月28日

上場会社名 SBテクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4726 URL <https://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 阿多 親市

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 清水 哲也 TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,759	13.8	666	22.1	658	20.7	348	5.5
2020年3月期第1四半期	12,969	5.8	546	21.3	545	26.2	330	29.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 368百万円(9.1%) 2020年3月期第1四半期 337百万円(31.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	17.30	17.20
2020年3月期第1四半期	16.62	16.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	30,162	17,603	54.3	811.65
2020年3月期	32,486	17,617	50.5	813.94

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 16,365百万円 2020年3月期 16,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	6.3	3,600	18.6	3,600	18.7	2,100	13.1	104.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期1Q	22,664,800株	2020年3月期	22,663,200株
2021年3月期1Q	2,501,422株	2020年3月期	2,501,422株
2021年3月期1Q	20,162,243株	2020年3月期1Q	19,889,309株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は同日TDnetで開示するとともに、当社ホームページ (<https://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>) にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界的に広がる新型コロナウイルス感染症の影響により、経済に対する先行きの不透明感が高まっております。このような状況の中、これまで以上に業務効率化のためのクラウド化やテレワークへの対応などが企業における喫緊の課題として浮き彫りになってきました。またニューノーマルと呼ばれる新しい時代に向けた変化へ対応するために、企業においては戦略的事業領域の強化や競争優位確保のためのDX対応、官公庁においてはデジタルガバナメント実現に向けたデジタル化の早期実現が大きな課題となっています。新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化する前と比べて、国内におけるIT投資の成長は鈍化が見込まれていますが、喫緊の課題及び戦略的なIT投資の需要は堅調であると考えております。

このような経営環境の中、ICTサービス事業は堅調に推移し、前年同期と比較して各ソリューションごとの業績は以下のとおりとなりました。

ビジネスITソリューションは、注力業界と定めたグローバル製造業向けのIoTシステム開発案件が大きく伸長したほか、農林水産省向け電子申請基盤の開発案件が進捗したことにより、売上が拡大しました。また下期及び2022年3月期以降の大型案件を見据え、PoC（実証実験）など戦略投資コストが先行しております。

コーポレートITソリューションでは、マイクロソフト社のライセンス販売が減少したものの、社会情勢を背景とした働き方改革が加速し、Microsoft Azureを利用したシステム開発、セキュリティソリューションや電子認証サービス、自社サービスであるclouXion（クラウドジョン）やマネージドセキュリティサービスが伸長しました。

オンプレミス環境のソリューションを提供するテクニカルソリューションでは、前年第3四半期より開始したソフトバンク㈱のIT領域におけるベンダーマネジメント案件が増収を牽引した一方で、開発パートナー企業数及びパートナー人員が急拡大した影響で外注費が増加し、限界利益率は低下しました。

ECソリューションでは、ノートンストアのEC運営代行ビジネスにおいて仕切り値の変更があったものの、フロント事業が順調に推移したことにより増益となりました。

また、M&A手続き費用が一時的に発生したものの、売上高、限界利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は第1四半期連結累計期間として過去最高となり、以下のとおりの業績となりました。

(百万円)

	前年同期	当第1四半期	増減	増減率
売上高	12,969	14,759	1,789	13.8%
限界利益	3,642	4,061	418	11.5%
固定費	3,096	3,394	297	9.6%
営業利益	546	666	120	22.1%
経常利益	545	658	113	20.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	330	348	18	5.5%
1株当たり 四半期純利益	16.62円	17.30円	0.68円	4.1%

なお、当社の報告セグメントは「ICTサービス事業」の単一セグメントとしておりますが、「ICTサービス事業」を構成する各ソリューションの内容及び業績については、P.4の「ソリューション区分の説明」をご参照ください。

〈 第3次中期経営計画の進捗 〉

当社グループは「サービスプロバイダーへの進化」と「コンサルティング&ビジネスITの創出」を重点テーマに位置付け、第3次中期経営計画を推進しております。

・サービスプロバイダーへの進化

マイクロソフト社の提供するクラウドソリューション及び自社サービスであるclouXionの導入実績が1,000社を突破しました。また、マネージドセキュリティサービスの販売数増加やグローバルヘルプデスクの受注獲得など、お客様のクラウド活用支援や情報システム部門業務のアウトソースを進めることで、着実にDX対応の準備に貢献しております。また、販売代理店契約を整備してパートナー企業と契約締結するなど、ビジネスをスケールさせるための準備を着実に進めております。第3次中期経営計画の2年目となる当期においては、第1四半期の自社サービス売上高は前年同期比53.2%増の441百万円となりました。2022年3月末時点における自社サービスのストック売上のパートナー販売比率目標を50%と定めており、2020年6月末では23.0%となりました。

・コンサルティング&ビジネスITの創出

グローバル製造業・建設業・農業の分野に注力して協創に取り組んでおります。これらの業界において競争力強化のためのクラウド活用や、お客様のIoTサービスの開発支援、営業支援システムとマーケティングシステムの連携支援、政府全体のデジタルガバメント実現への取り組み等を大きな機会と捉えており、研究開発や新サービス開発、開発体制の強化などを進めております。第3次中期経営計画の2年目となる当期においては、第1四半期のビジネスITソリューションの受注が前年同期比で74.0%増となりました。

また、2022年3月期において、企業のクラウドファースト戦略を実現するコーポレートITソリューション及びビジネスITソリューションの売上高構成比率を50%まで引き上げるとともに、「連結営業利益43億円（2019年3月期を起算にCAGR20%成長）」を達成することを経営指標に掲げております。

当第1四半期連結累計期間におけるコーポレートITソリューション及びビジネスITソリューションの売上高構成比率は前年同期比1.4ポイント減の32.7%となり、営業利益は前年同期比22.1%増の666百万円となりました。

〈 ソリューション区分の説明 〉

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要なソリューションの内容及び業績については、次のとおりです。

また、各ソリューション区分の前年同期の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

ソリューション区分	ソリューション内容	主な事業会社の名称
ビジネスIT ソリューション	< クラウドビジネス/事業部門向け > ・コンサルティングサービス ・DXソリューション ・AI・IoTソリューション 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・リデン(株)
コーポレートIT ソリューション	< クラウドビジネス/全社・管理部門向け > ・クラウドインテグレーション ・業務効率化サービス ・クラウドセキュリティサービス ・セキュリティ運用監視サービス ・電子認証ソリューション 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・M-SOLUTIONS(株) ・(株)環 ・アソラテック(株)
テクニカル ソリューション	・オンプレミスのシステムインテグレーション ・機器販売、構築、運用保守サービス ・Linux/OSS関連製品の販売、組込開発 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株)
ECソリューション	・ECサイト運営代行 ・フロントライセンスのEC販売 等	・SBテクノロジー(株) ・フロントワークス(株)

(百万円)

		前年同期	当第1四半期	増減	増減率
ビジネスIT ソリューション	売上高	764	1,132	367	48.1%
	限界利益	309	322	13	4.3%
	利益率	40.4%	28.5%	△11.9ポイント	—
コーポレートIT ソリューション	売上高	3,664	3,695	31	0.8%
	限界利益	1,369	1,648	278	20.3%
	利益率	37.4%	44.6%	7.2ポイント	—
テクニカル ソリューション	売上高	2,991	4,398	1,406	47.0%
	限界利益	1,093	1,179	86	7.9%
	利益率	36.6%	26.8%	△9.8ポイント	—
ECソリューション	売上高	5,548	5,533	△15	△0.3%
	限界利益	870	911	41	4.7%
	利益率	15.7%	16.5%	0.8ポイント	—
計	売上高	12,969	14,759	1,789	13.8%
	限界利益	3,642	4,061	418	11.5%
	利益率	28.1%	27.5%	△0.6ポイント	—

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	前期末	当第1四半期末	(参考) 前第1四半期末
総資産	32,486	30,162	26,910
純資産	17,617	17,603	15,946
自己資本比率	50.5%	54.3%	55.2%

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より2,323百万円減少して30,162百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末より2,308百万円減少しました。

固定資産は、繰延税金資産の減少などにより、前連結会計年度末より15百万円減少しました。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より2,309百万円減少して12,559百万円となりました。

流動負債は、買掛金の減少などにより、前連結会計年度末より2,107百万円減少しました。

固定負債は、長期前受金の減少などにより、前連結会計年度末より202百万円減少しました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末より14百万円減少して17,603百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

当第1四半期は、前年第4四半期の提案活動を着実に進めていた成果として、受注残高は高水準を維持し、売上高及び営業利益も堅調に推移しました。第2四半期は、ビジネスITソリューション領域における下期及び2022年3月期の大型案件のプリセールス活動、実証実験、サービス開発、体制強化等を積極的に実施する計画であり、受注高及び売上高は引き続き成長し、営業利益については前年同期並みを想定しています。

第3四半期及び第4四半期については、第2四半期で準備したことを活かし、前年同期を超える利益成長を計画しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により経済の先行きの不透明感が高まっており、その影響が顕在化する前と比べて、国内におけるIT投資の成長は鈍化が見込まれていますが、喫緊の課題及び戦略的なIT投資の需要は堅調であると考えております。

2021年3月期の連結業績予想は上記の仮定において算出しており、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の発生及び収束状況によって、国内企業及び官公庁自治体が戦略的なIT投資を凍結するような事態となった場合には、業績予想を変更する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,826	9,298
受取手形及び売掛金	12,714	10,032
商品	26	81
仕掛品	757	920
その他	1,026	1,708
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,350	22,042
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	731	735
工具、器具及び備品（純額）	756	800
建設仮勘定	—	135
その他（純額）	—	1
有形固定資産合計	1,488	1,672
無形固定資産		
のれん	554	647
ソフトウェア	1,397	1,411
ソフトウェア仮勘定	591	679
顧客関連資産	335	319
その他	170	163
無形固定資産合計	3,049	3,221
投資その他の資産		
投資有価証券	782	676
繰延税金資産	960	816
その他	1,854	1,732
投資その他の資産合計	3,597	3,225
固定資産合計	8,135	8,120
資産合計	32,486	30,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,258	6,107
リース債務	88	88
未払金	1,163	1,247
未払法人税等	810	152
前受金	1,554	2,139
賞与引当金	1,055	471
役員賞与引当金	—	29
受注損失引当金	198	170
瑕疵補修引当金	1	4
その他	397	1,009
流動負債合計	13,528	11,420
固定負債		
リース債務	291	269
繰延税金負債	68	86
長期前受金	495	344
退職給付に係る負債	45	51
資産除去債務	326	325
その他	112	61
固定負債合計	1,340	1,138
負債合計	14,869	12,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176	1,177
資本剰余金	1,268	1,269
利益剰余金	15,549	15,494
自己株式	△1,568	△1,568
株主資本合計	16,425	16,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	△9
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益累計額合計	△14	△7
新株予約権	205	224
非支配株主持分	1,000	1,012
純資産合計	17,617	17,603
負債純資産合計	32,486	30,162

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	12,969	14,759
売上原価	10,873	12,326
売上総利益	2,096	2,433
販売費及び一般管理費	1,550	1,766
営業利益	546	666
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
持分法による投資利益	1	6
雑収入	2	1
営業外収益合計	4	7
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	3	0
支払手数料	—	9
雑損失	0	4
営業外費用合計	5	16
経常利益	545	658
特別損失		
段階取得に係る差損	—	5
特別損失合計	—	5
税金等調整前四半期純利益	545	653
法人税、住民税及び事業税	78	146
法人税等調整額	134	145
法人税等合計	213	292
四半期純利益	332	360
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	330	348
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	12
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	7
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	5	7
四半期包括利益	337	368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336	356
非支配株主に係る四半期包括利益	1	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。